

法事の流れについて

《法事》

1、お寺に連絡、日程の打ち合わせ

ご供養される方の戒名、回忌と希望日時をお伝えください。予め希望日時の候補を出席者で検討しておいてください。所定の『法要申込書』にご記入の上、お寺に提出してください。「法要申込書」をもとに塔婆をお作り致します。

2、法事の流れ

《自宅で行う場合》

- ①自宅で法要 → ②墓経 → ③お寺の本堂 → ④法話 → ⑤お茶 → ⑥精進落とし
- ・ご自宅の仏壇の生花・盛物、霊供膳は施主様をご用意してください。
 - ・お寺の生花・盛物・霊供膳は、お寺で用意致します。
 - ・お寺でほうじ茶をご用意しております

《お寺で行う場合》

- ①お寺の本堂で法要 → ②法話 → ③お茶 → ④墓経 → ⑤精進落とし
- ・お寺の生花・盛物・霊供膳は、お寺で用意致します。
 - ・お寺でほうじ茶をご用意しております。
 - ・開式 15 分前にはお越してください。

3、お知らせ

日程が決まったら、有縁の方(家族・親戚・兄弟姉妹等)にお知らせしましょう。

4、法事前日

自宅の内外や仏壇の清掃、お墓の清掃、お茶の支度、お膳の手配、お布施の用意等

- ※ 控室に、書院(エアコン完備)をご利用できます。お着替え等に利用可。事前連絡必須。
- ※ 基本的な法事の流れを提示しました。法事後の精進落としは、なくても構いません。
- ※ 「十三佛」の掛け軸は、四十九日忌の際、お寺に返還してください。
- ※ 納骨法要の場合、さらしの袋をご用意ください。お寺にもあります。(1袋千円)
- ※ お寺で行う法要は、椅子(40脚)で行います。駐車場の確保や足の悪い方、また部屋数などに難のある方は是非ご利用ください。本堂使用料は、頂いておりません。
- ※ 年忌表は、本堂玄関より上がりまして、本堂入口付近の左右の鴨居に掲示してあります。年の暮れと七月に掲示します。本年七月には令和二年の年忌表を掲示します。すでに行った法事は、住職が、年忌表より削除します。
- ※ お布施は、法要後に『年忌目録明細書』を同封し、お寺に渡してください。
- ※ 原則、1年先までの法事は一緒に行うことができます。
- ※ お気軽に住職に相談して下さい。